2020年度(令和2年度)三重県温室効果ガスの排出量について

1. 温室効果ガスの総排出量

2020 年度の三重県域の温室効果ガスの排出量は、23,772 千 t-C0 $_2$ (二酸化炭素(C0 $_2$)換算。以下同じ。)でした。

三重県地球温暖化対策総合計画の基準年度である2013年度の排出量と比べて12.9%減少し、前年度と比べて3.2%減少となりました。

なお、2020 年度の三重県域の吸収源活動による吸収量は 655 千 t– $C0_2$ (吸収)でした。 吸収源活動による吸収量を含めた温室効果ガスの排出量は、23, 117 千 t– $C0_2$ となり、2013 年度と比べて 15. 3%減少し、前年度と比べて <math>3. 1%減少しました。

表 1.1に温室効果ガス排出量の推移を示します。

表 1.1 県域の温室効果ガス排出量の推移(単位: 千t-CO₂)

単位:千t-CO2

	1990 (1995)	2005	2013	2015	2016	2017	2018	2019	2020	1990年度 (1995年度)比	2013年度比	前年度比
二酸化炭素	22,351	25,246	25,953	24,309	23,650	23,441	23,634	22,993	22,163	99.2%	85.4%	96.4%
メタン	305	273	249	236	237	235	235	241	237	77.6%	94.9%	98.3%
一酸化二窒素	490	636	564	523	540	536	578	581	571	116.6%	101.2%	98.2%
代替フロン等4ガス	(416)	485	515	616	706	717	692	732	801	192.8%	155.7%	109.5%
合計	23,562	26,640	27,282	25,684	25,133	24,930	25,139	24,547	23,772	100.9%	87.1%	96.8%
吸収源活動による吸収量	_	_		-861	-812	-816	-815	-679	-655	_	_	96.5%
合計(吸収量含む)	23,562	26,640	27,282	24,823	24,321	24,114	24,324	23,868	23,117	98.1%	84.7%	96.9%

- 注1)代替フロン等4ガスは1995年が基準年度。
- 注2)数値は四捨五入しているため、合計値等に一致しない場合がある。
- 注3)算定方法の改善により、今後、数値の見直しをする場合がある。

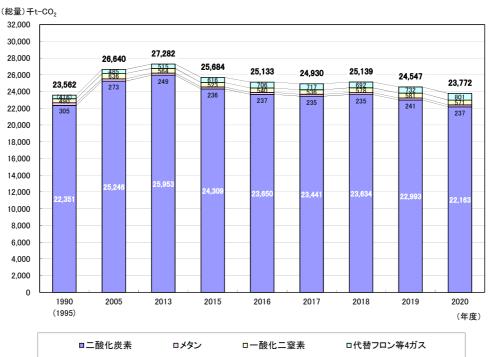


図 1.1 県域の温室効果ガス排出量の推移

2. 各温室効果ガスの排出状況

2.1 二酸化炭素 (CO₂)

温室効果ガス全体の約93%を占める二酸化炭素の排出量は、22,163 千 t-CO₂で、2013 年度と比べて14.6%の減少、前年度と比べて3.6%減少しています。

部門別にみると、二酸化炭素排出量の約 55%を占める産業部門(第三次産業や工業プロセスを除く、製造業(工場)、農林水産業、鉱業及び建設業におけるエネルギー起源の排出量)からの排出は 12,265 千 t-CO $_2$ で、2013 年度と比べて 9.5%減少、前年度と比べて 3.3%減少しています。

民生業務その他部門 (オフィスビル、事務所、商業施設等、その他) からの排出は 2,117 千 t-CO₂で、2013 年度と比べて 37.2%減少、前年度と比べて 11.5%減少しています。

民生家庭部門からの排出は 2,463 千 t-CO₂で、2013 年度と比べて 16.5%減少、前年度と 比べて 7.4%増加しています。

運輸部門(自動車・鉄道・船舶)からの排出は3,159 千 t-CO₂で、2013 年度と比べて17.5%減少、前年度と比べて9.8%減少しています。

エネルギー転換部門からの排出は 432 千 t- $C0_2$ で、2013 年度と比べて 17.4%増加、前年度と比べて 5.4%増加しています。

工業プロセス分野(生産工程の原材料から発生するもの)からの排出は 1,079 千 t-CO₂ で、2013 年度と比べて 16.7%減少、前年度と比べて 1.0%増加しています。

廃棄物分野からの排出は 649 千 t-CO₂で、2013 年度と比べて 10.7%増加、前年度と比べて 0.2%増加しています。

部門別構成比を全国と比較すると、三重県は産業部門の占める割合が5割以上と全国より大きく、運輸部門や民生(家庭、業務その他)部門の占める割合は全国より低いことが特徴です。

表 2.1、図 2.1.1 に二酸化炭素排出量の部門別推移を、図 2.1.2 に部門別構成比を示します。

表 2.1 二酸化炭素排出量の推移 (単位: ft-CO₂)

単位:千t-CO₂

	1990	2005	2013	2015	2016	2017	2018	2019	2020	1990年度比	2013年度比	前年度比
産業部門	13,150	13,151	13,556	13,256	12,878	12,788	13,043	12,680	12,265	93.3%	90.5%	96.7%
業務その他部門	1,629	2,692	3,372	2,782	2,675	2,539	2,672	2,392	2,117	130.0%	62.8%	88.5%
家庭部門	1,267	2,613	2,949	2,485	2,526	2,399	2,337	2,293	2,463	194.4%	83.5%	107.4%
運輸部門	4,154	4,251	3,827	3,708	3,556	3,800	3,541	3,502	3,159	76.1%	82.5%	90.2%
エネルギー転換部門	454	408	368	345	338	355	344	410	432	95.2%	117.4%	105.4%
工業プロセス分野	1,225	1,570	1,295	1,237	1,166	1,048	1,061	1,068	1,079	88.0%	83.3%	101.0%
廃棄物分野	473	562	586	495	510	513	635	648	649	137.2%	110.7%	100.2%
二酸化炭素排出量	22,351	25,246	25,953	24,309	23,650	23,441	23,634	22,993	22,163	99.2%	85.4%	96.4%

注1)数値は四捨五入しているため、合計値等に一致しない場合がある。

注 2) 算定方法の改善により、今後、数値の見直しをする場合がある。



図 2.1.1 二酸化炭素排出量の推移

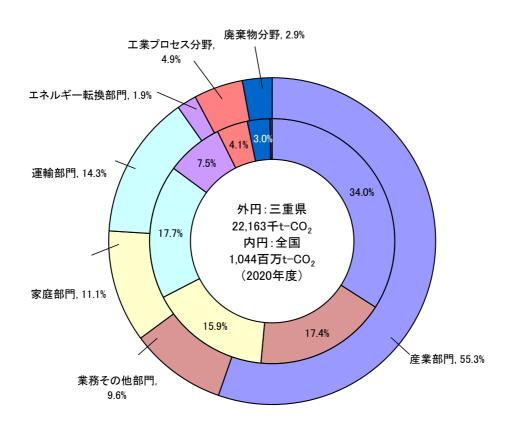


図 2.1.2 二酸化炭素排出量の部門別構成比

2.2 メタン(CH₄)

2020 年度のメタン排出量は 237 千 t- CO_2 で、前年度に比べて 1.7%減少しました。燃料の燃焼分野が前年度と比べて 8.1%減少し、工業プロセス分野が前年度と比べて 2.7%増加しています。

表 2.2にメタン排出量の推移を示します。

表 2.2 メタン排出量の推移 (単位: 千t-CO₂)

単位: 千t-CO。

	1990	2005	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	1990 年度比	2013 年度比	前年度比
燃料の燃焼		28	23	23	23	23	21	23	23	21	_	90.7%	91.9%
農業		227	208	205	195	196	196	195	201	199	_	95.6%	98. 8%
廃棄物		18	18	18	18	18	18	17	17	17	-	93.0%	100.6%
工業プロセス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	107.6%	102. 7%
合計	305	273	249	246	236	237	235	235	241	237	77.6%	94.9%	98. 3%

注)数値は四捨五入しているため、合計値等に一致しない場合がある。

- 注1)数値は四捨五入しているため、合計値等に一致しない場合がある。
- 注2)算定方法の改善により、今後、数値の見直しをする場合がある。

2.3 一酸化二窒素 (N₂0)

2020 年度の一酸化二窒素の排出量は 571 千 t-CO₂で、前年度と比べて 1.8%減少しました。前年度と比べて燃料の燃焼分野が 7.6%、農業分野が 4.5%減少しています。

表 2.3に一酸化二窒素排出量の推移を示します。

表 2.3 一酸化二窒素排出量の推移(単位: ft-CO₂)

単位:千t-CO₂

	1990	2005	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	1990 年度比	2013 年度比	前年度比
燃料の燃焼	116	178	93	92	92	93	90	94	93	86	74.5%	93.4%	92. 4%
農業	188	61	76	75	57	73	71	69	72	69	36.5%	90.9%	95. 5%
廃棄物	178	396	396	396	374	375	375	415	416	416	233.5%	105.0%	100.0%
病院	7	-	-	-	_	_	-	-	_	_	_	-	_
合計	490	636	564	563	523	540	536	578	581	571	116.6%	101.2%	98. 2%

- 注 1) 数値は四捨五入しているため、合計値等に一致しない場合がある。
- 注 2) 算定方法の改善により、今後、数値の見直しをする場合がある。

2.4 ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、 六ふっ化硫黄(SF $_6$)、三ふっ化窒素(NF $_3$)

2020 年度の代替フロン等 4 ガス排出量は 801 千 t-CO₂でした。前年度と比べて 9.5%増加しています。

2020 年度のハイドロフルオロカーボン類排出量は 724 千 t- CO_2 でした。前年度と比べて 8.6%増加しています。

パーフルオロカーボン類排出量は 51 千 t-CO₂ でした。前年度と比べて 31.7%増加しています。

六ふっ化硫黄排出量は 14 千 t- CO_2 でした。前年度と比べて 0.7%減少しています。 三ふっ化窒素排出量は 13 千 t- CO_2 でした。前年度と比べて 0.2%増加しています。 表 2.4に代替フロン等 4 ガス排出量の推移を示します。

表 2.4 代替フロン等 4 ガス排出量の推移 (単位: 千 t-CO₂)

単位: 千t-CO2

	1995	2005	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	1995 年度比	2013 年度比	前年度比
HFCs	43	179	458	503	551	601	633	631	666	724	1691.3%	158. 1%	108.6%
PFCs	165	277	21	38	37	74	55	36	39	51	31. 2%	240.6%	131. 7%
SF ₆	208	21	24	19	14	19	18	14	14	14	6. 6%	56.4%	99.3%
NF ₃	_	7	11	16	14	11	11	11	13	13	_	111.5%	100. 2%
合計	416	485	515	576	616	706	717	692	732	801	192.8%	155. 7%	109.5%

注1)数値は四捨五入しているため、合計値等に一致しない場合がある。

3. 留意事項

算定は、現在発行されている三重県統計書等の各種統計書やアンケート調査、国の排出 量から関連指標を用いての割り戻しをもとに可能な限りの精度で算定していますが、統計 書内容の修正や改廃等により、排出量の再計算を行う場合があります。

注2)算定方法の改善により、今後、数値の見直しをする場合がある。